

2022年度まちづくりネットモニター第2回調査結果  
 テーマ「SDGs（エスディーゼズ）の関心度について」



SDGsとは、深刻化する地球上の問題を、2030年までにより良くするために、国連で貧困、教育、気候変動など17のゴールと169のより具体的な目標(ターゲット)に集約した世界共通の目標です。

郡山市は「SDGs未来都市」として、様々な分野の人・情報・研究成果などが行き交う「知の結節点」としての強みを生かし、こおりやま広域圏に住むすべての方が「自分ごと」として将来世代のために行動できるようSDGsの達成に取り組んでいます。

郡山市ではSDGsについて市民の皆様方の認知度・関心度を把握するとともに、今後の取り組みの参考とするためアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

(政策開発課)

【調査概要】

- 調査期間 2022年5月20日(金)～5月29日(日) 10日間
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 360名 (男性 178名 女性 182名)
- 回答者数 334名 (男性 168名 女性 166名)
- 回答率 92.8%



郡山市ウェブサイト  
 SDGs未来都市こおりやま

【分析】

《回答者内訳》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	0	6	15	35	40	24	34	14	168
女性	2	10	35	48	46	23	2	0	166
合計	2	16	50	83	86	47	36	14	334

《問1 SDGsの認知度》

85.9%が「知っている」、13.2%が「聞いたことはある」、0.9%が「全く知らない」と回答。  
 前回調査(2021年)と比較し、認知度(知っている)は22.5ポイント高くなっている。

《問11 日常生活においてSDGsを意識して行動していますか?》

20.1%が「意識して行動している」、42.8%が「何かのきっかけで意識して行動することがある」と回答。

前回調査(2021年)と比較し、「意識して行動している」が約2倍増の9.9ポイント高くなっている。

《問14 SDGsの取り組みをしている企業に対して好ましく思いますか?》

42.2%が「とてもそう思う」、44.0%が「まあまあそう思う」と回答。  
 →86.2%の人がSDGsの取り組みをしている企業を好意的に思っている。

【考察】

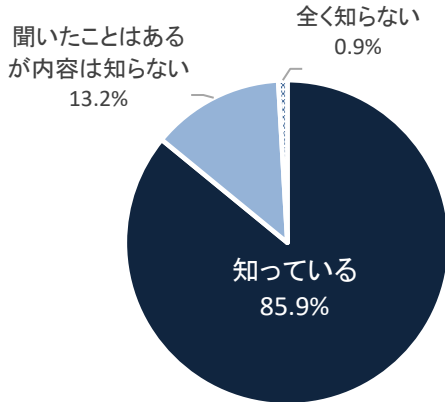
- ・SDGsの認知度と関心度は調査開始以降、一貫して上昇しており、周知・PRの効果が現れていると考えられる。  
 今回の調査結果では、認知度は85.9%、関心度は75.5%に達しており、SDGsは年齢や性別に関係なく広く浸透していることがわかる。
- ・SDGsを意識して行動していると回答した割合が昨年と比べ約2倍増加しており、日常生活においてSDGsの影響を受けている人が増加している。
- ・SDGsに取り組む企業を8割以上の消費者は好意的に捉えており、企業がSDGsに取り組むことは、企業イメージの向上に寄与すると考えられる。

※割合(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

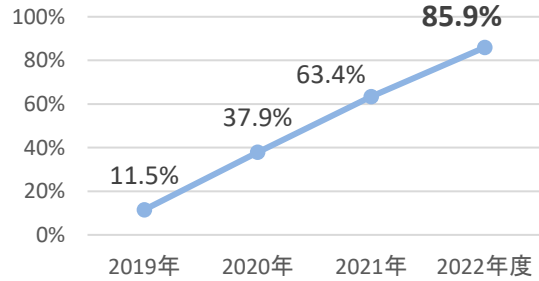
## 第1章 SDGsの認知度について

### 問1 SDGs(エスディーゼーズ)をご存知ですか？(1つ選択)

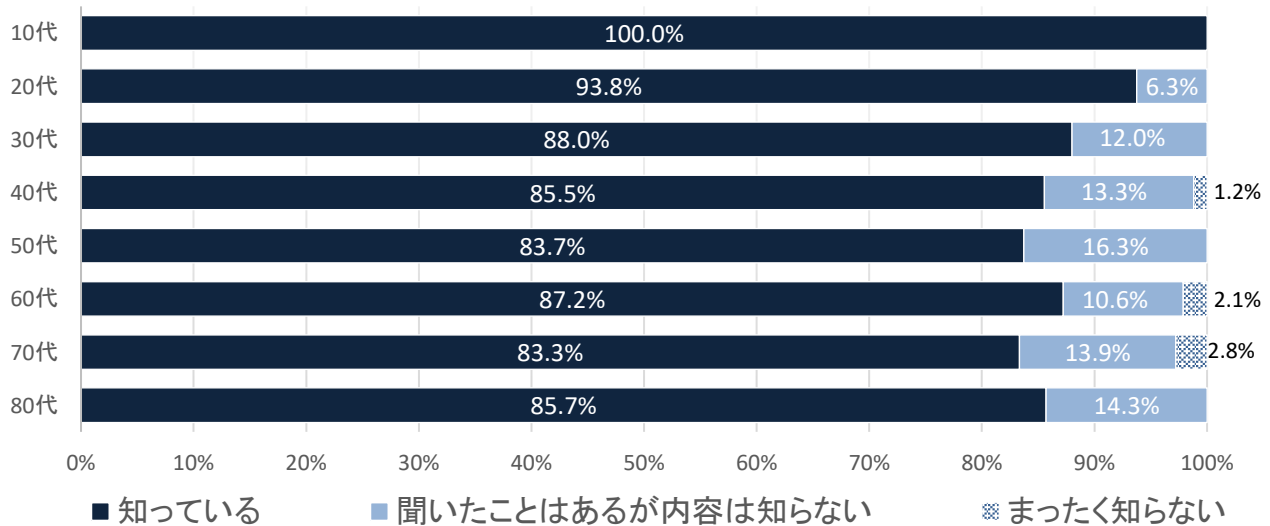
(回答者：334人)



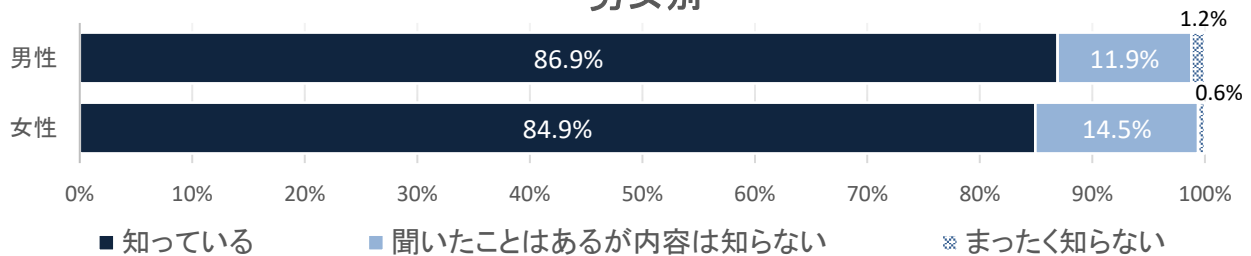
### 認知度の推移



### 年代別



### 男女別



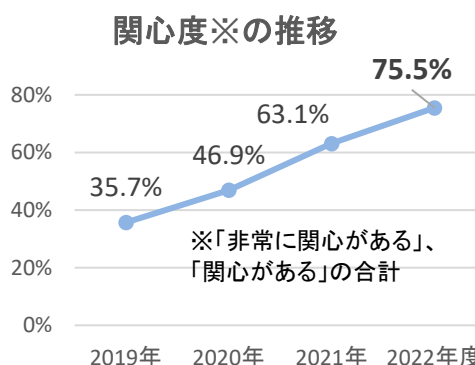
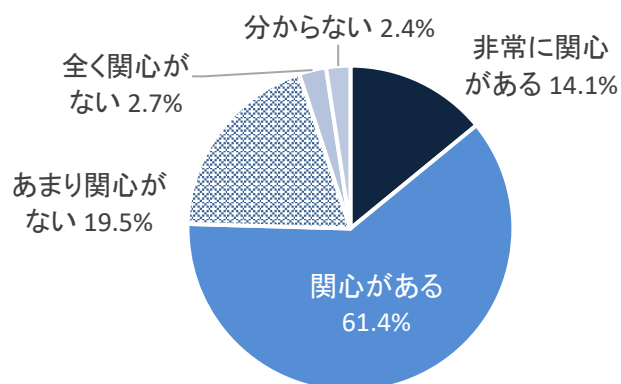
SDGsの認知度について、「知っている」と答えた割合は全体の85.9%であり、前回調査と比べると、認知度(知っている)は22.5ポイント上昇している。

年代別では、10代の認知度が100%と最も高く、70代の認知度が83.3%で最も低い。

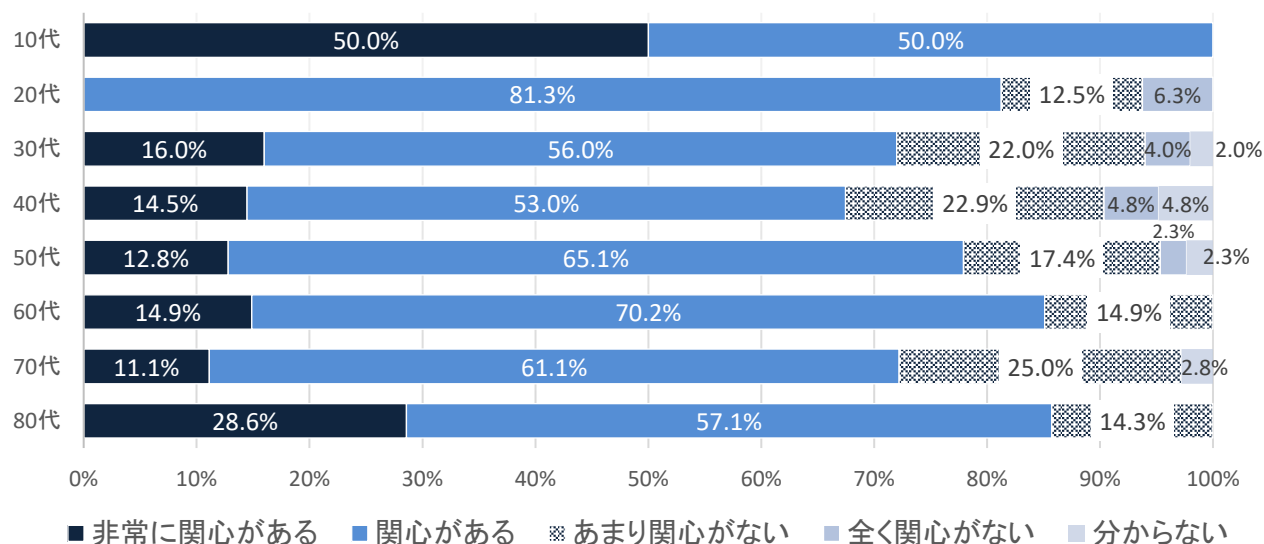
男女別では、男性の認知度が女性より2.0ポイント高い。

問2 SDGsについてどの程度関心がありますか？  
(1つ選択)

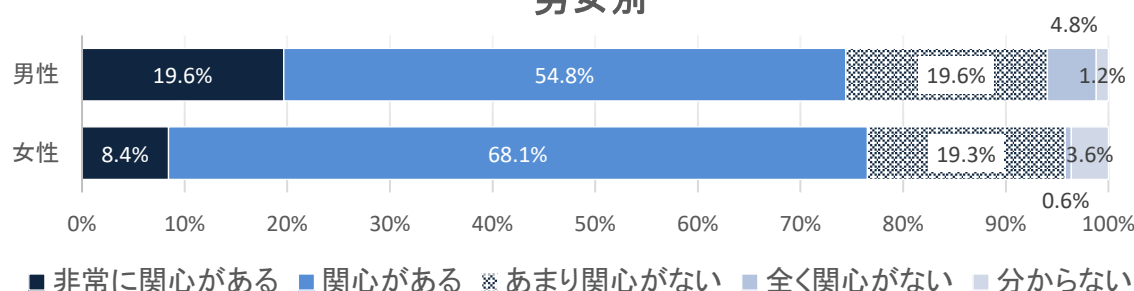
(回答者：334人)



年代別



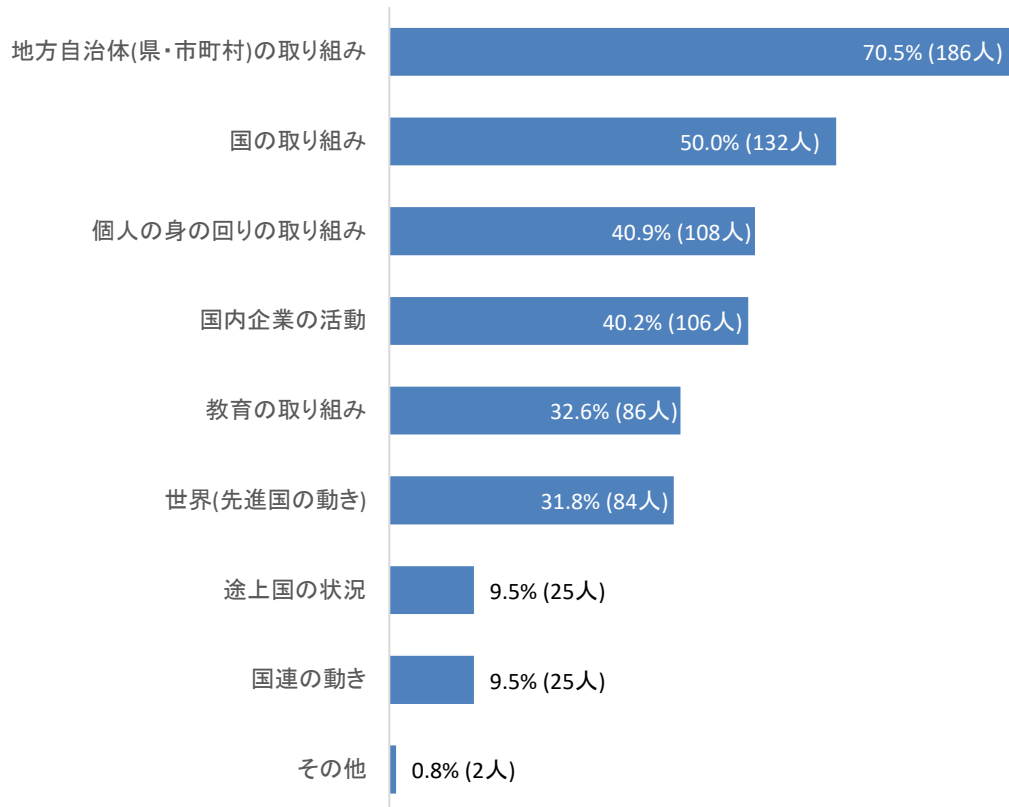
男女別



全体では、「非常に関心がある」と「関心がある」の合計の割合は計75.5%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」の合計の割合は計22.2%、「分からない」は2.4%となっている。  
 前回調査と比べ、関心度は12.4ポイント高くなっている。  
 年代別では、10代の関心度が高く、30代及び40代の関心度が低い。  
 男女別では、「非常に関心がある」の割合が男性で高くなっている。

問3 SDGsに関するどのような活動に興味がありますか？  
(3つまで選択)

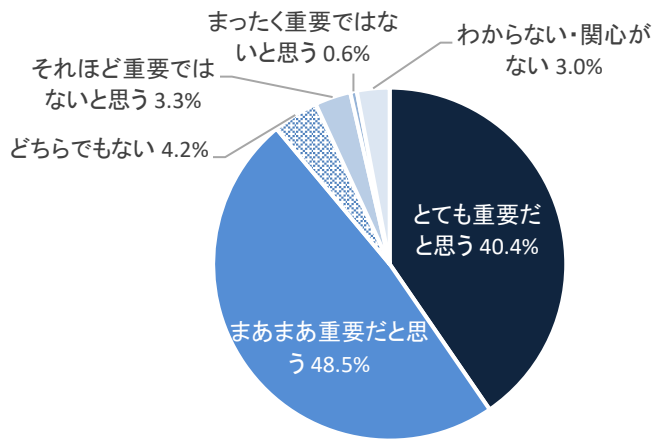
(回答者：264人)



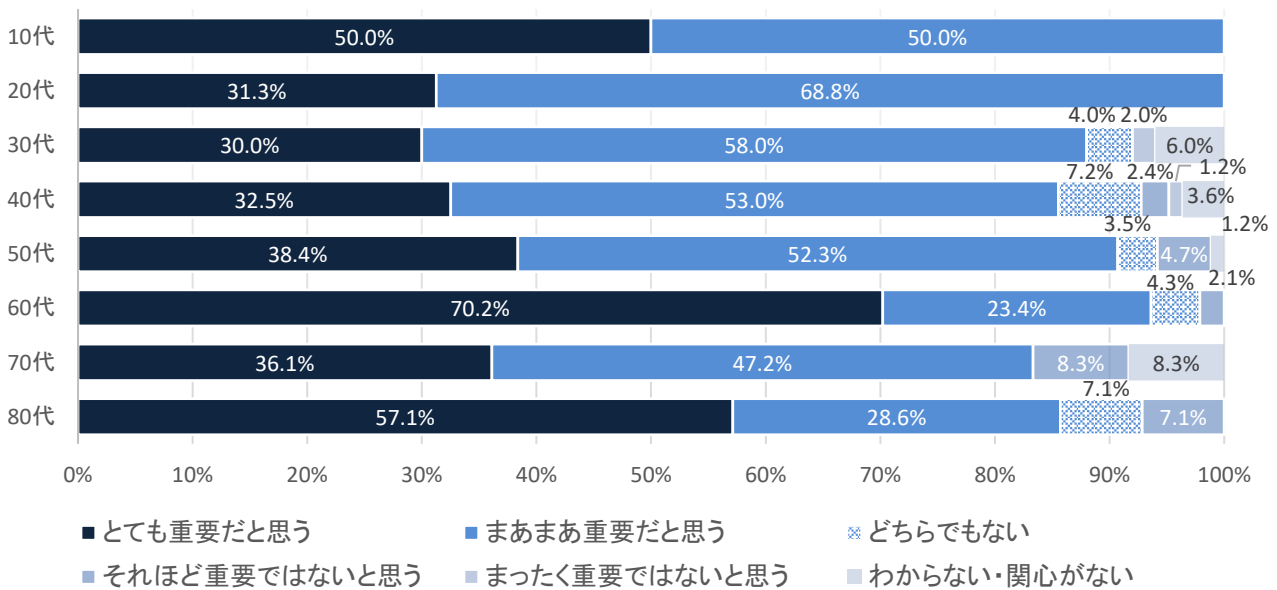
SDGsに関する活動の興味では「地方自治体(県・市町村)の取り組み」、「国の取り組み」に興味がある割合が高い。  
一方で、「途上国の状況」や「国連の動き」といった項目に興味がある割合は低くなっている。

問4 SDGsは重要だと思いますか？（1つ選択）

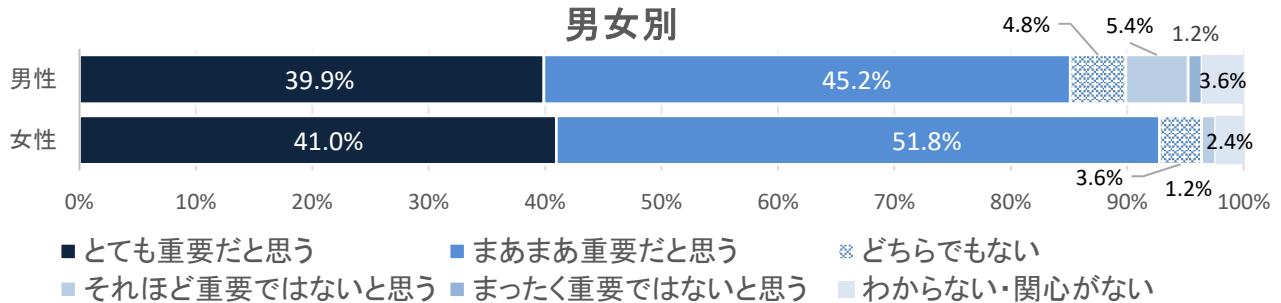
（回答者：334人）



年代別



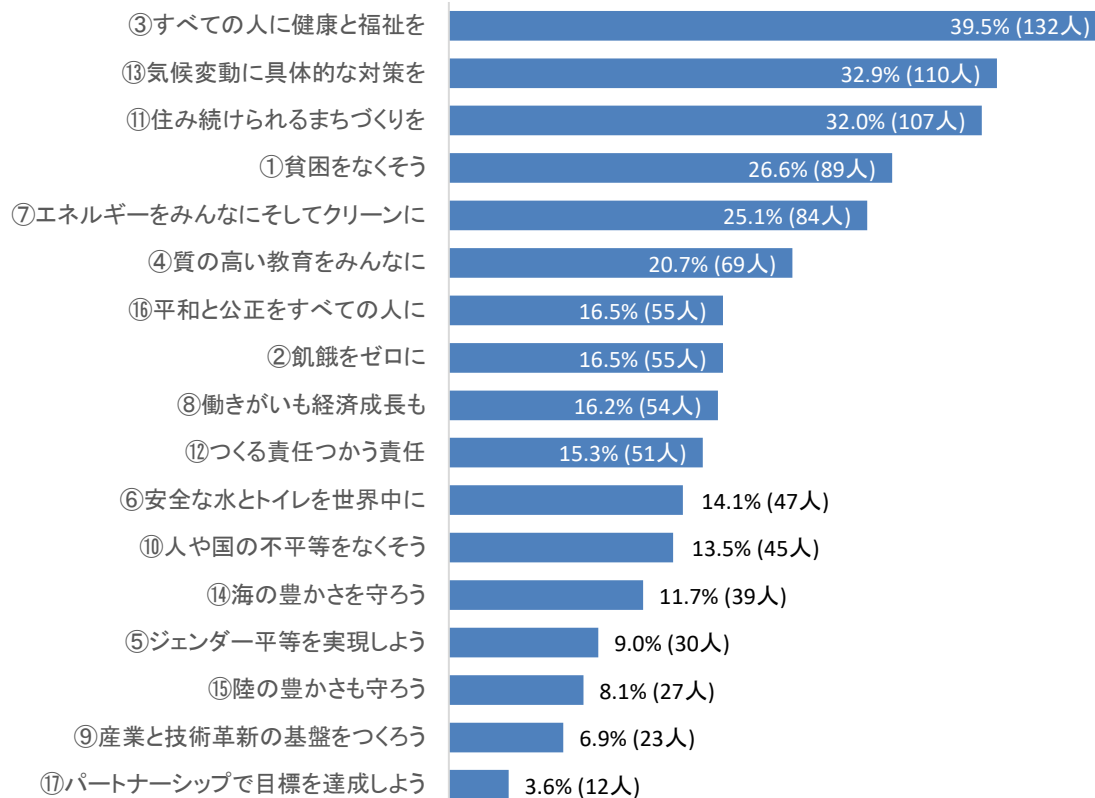
男女別



全体では、「とても重要だと思う」と「まあまあ重要だと思う」の合計の割合は計88.9%、「それほど重要ではないと思う」と「まったく重要ではないと思う」の合計の割合は計3.9%となっており、SDGsは重要だと考える人が約9割を占めている。  
年代別では、若い年代の方がSDGsを重要だと認識している傾向にある。

問5 SDGsの17の目標のうち、特に大切だと思う(関心がある目標)は何ですか？  
(3つ選択)

(回答者：334人)



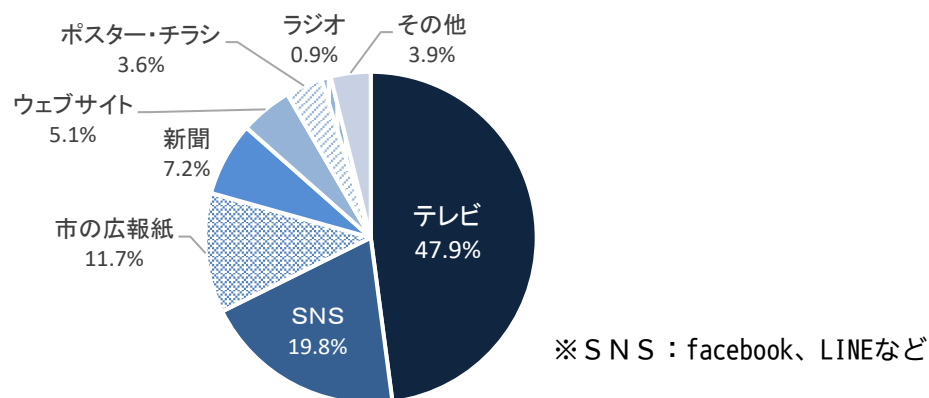
2022年得票数上位トップ5の過去3年の順位

	2019年	2020年	2021年	2022年
③すべての人に健康と福祉を	1位	1位	1位	1位
⑬気候変動に具体的な対策を	10位	5位	4位	2位
⑪住み続けられるまちづくりを	2位	2位	2位	3位
①貧困をなくそう	4位	4位	3位	4位
⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9位	6位	5位	5位

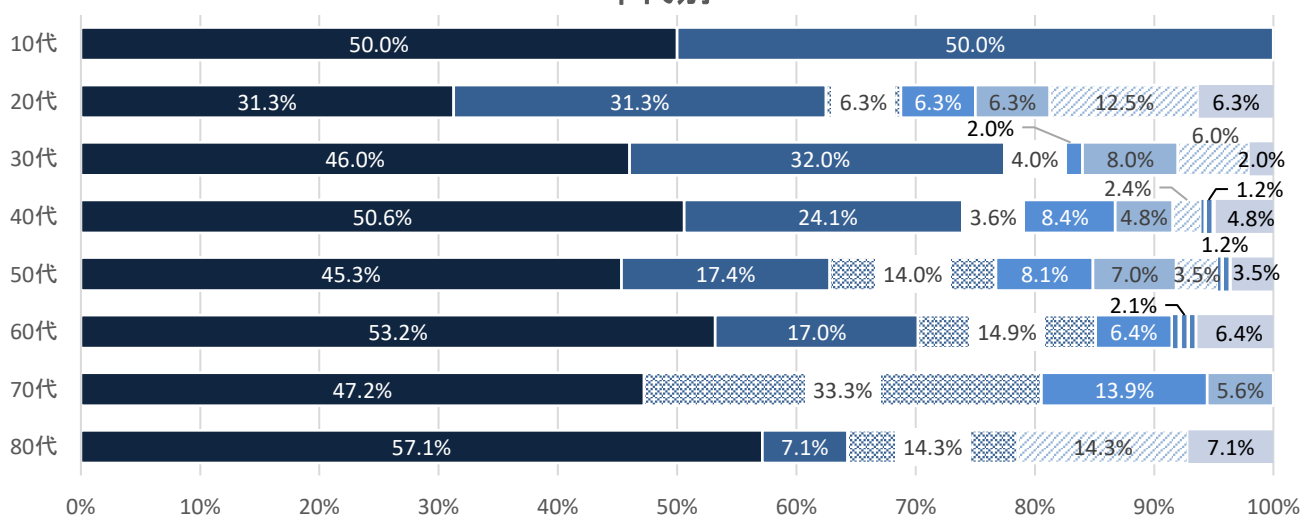
「③すべての人に健康と福祉を」が最も多く、次いで「⑬気候変動に具体的な対策を」となっている。

調査を開始した2019年の調査結果と比べると「気候変動に具体的な対策を」が10位から2位に順位を上げており、近年、気候変動に起因した災害が全国で続いていることが影響していると考えられる。

問6 SDGsを知らない方に対し、興味関心を持っていただくためには、どのような方法によるPRが最も効果的だと思いますか？ (1つ選択) (回答者：334人)

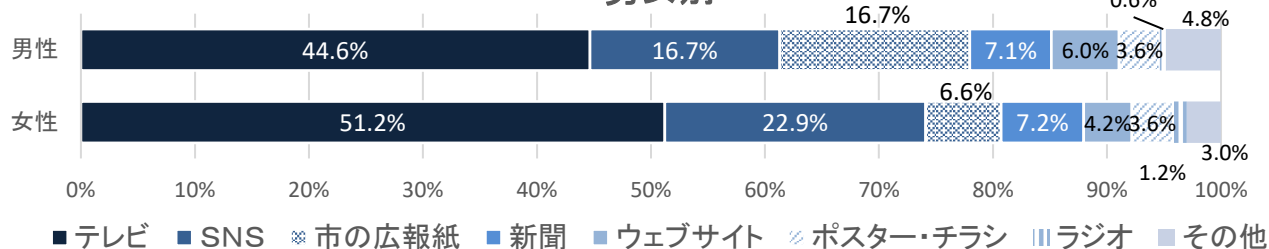


年代別



■ テレビ ■ SNS ※ 市の広報紙 ■ 新聞 ■ ウェブサイト ※ ポスター・チラシ || ラジオ ■ その他

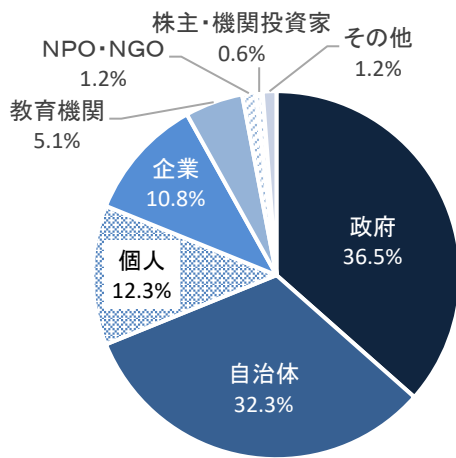
男女別



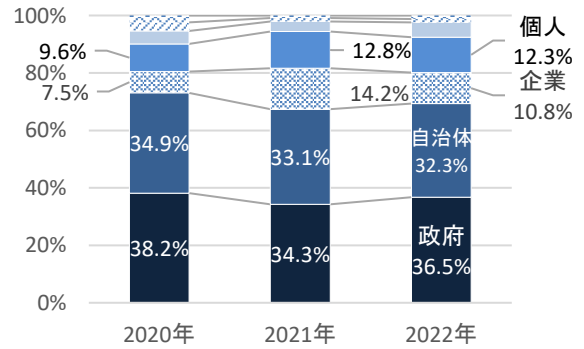
全体では、「テレビ」47.9%の割合が最も高く、次いで「SNS」19.8%、「市の広報紙」11.7%となっている。  
 年代別では、若い年代では「SNS」の割合が比較的高く、50代以上の年代では、「市の広報紙」や「新聞」が若い年代に比べて高くなっている。  
 男女別では、男性は「市の広報紙」の割合が女性に比べて10.1ポイント高く、女性は「テレビ」や「SNS」の割合が男性に比べてそれぞれ6.6ポイント、6.2ポイント高い。

## 第2章 SDGsに関する取り組みについて

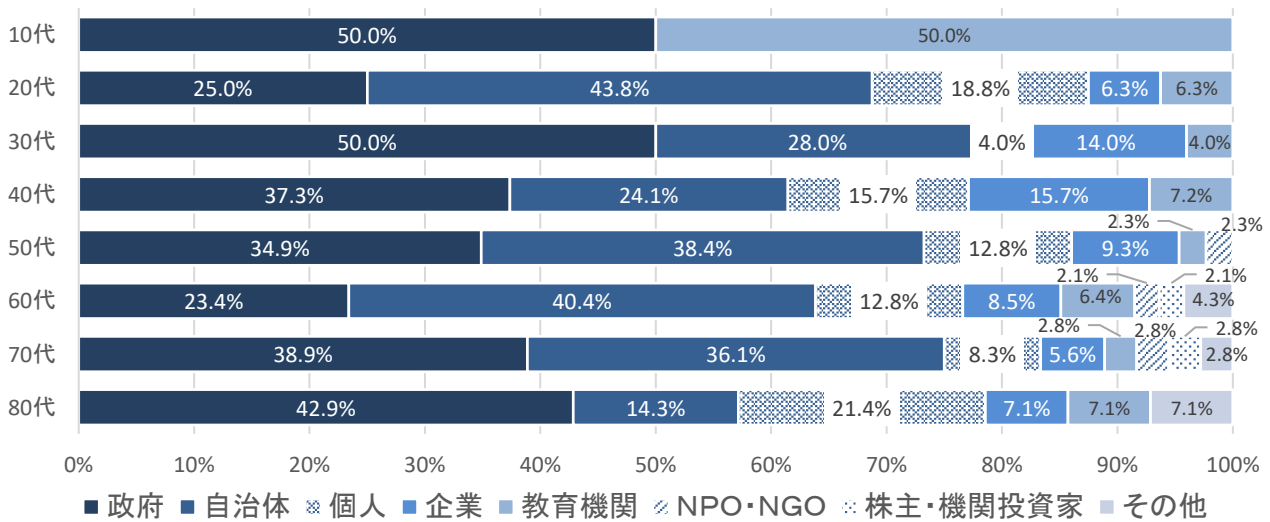
問7 SDGsの達成に向けて、誰が主に行動したほうが良いと思いますか？（1つ選択）  
（回答者：334人）



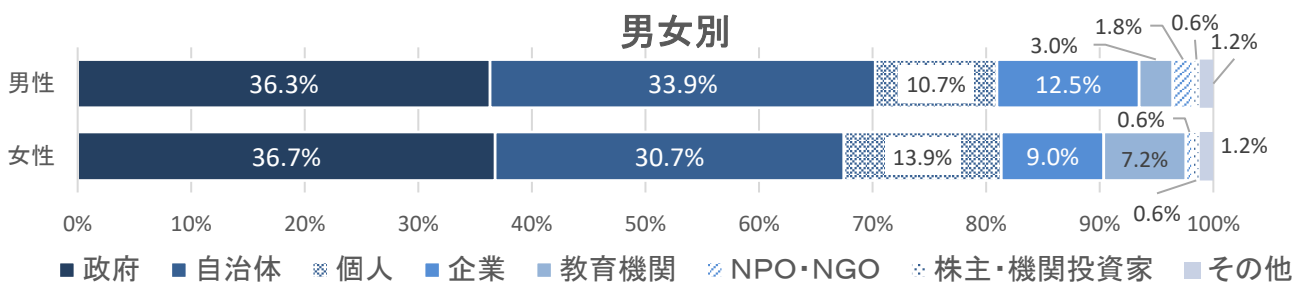
調査結果の推移



年代別



男女別



※「その他」を選択した方の主な意見

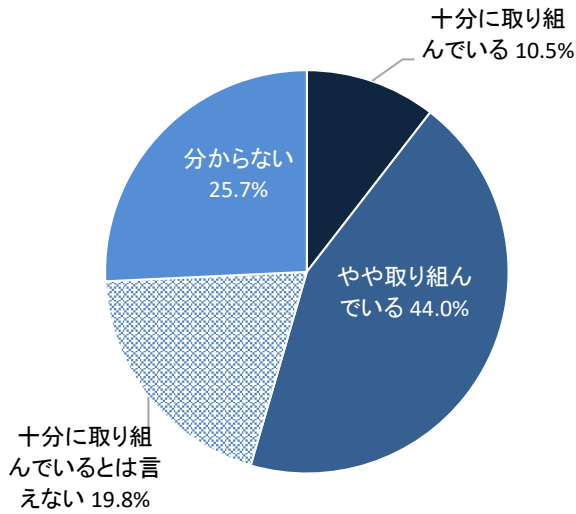
- ・誰がではなく連携だと思う
- ・誰と言う事ではなくそれぞれの立場で取り組む事が大切

全体では、「政府」と「自治体」の割合が高く、合計で約7割を占めており、行政が主に行動するべきと考える人が多いことが分かる。次いで、「個人」が12.3%、「企業」が10.8%となっている。  
年代別でみると、30代、40代では「企業」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

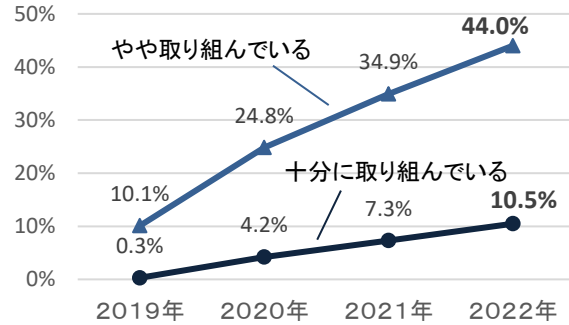


問8 郡山市のSDGsへの取り組みについてはどう思いますか？（1つ選択）

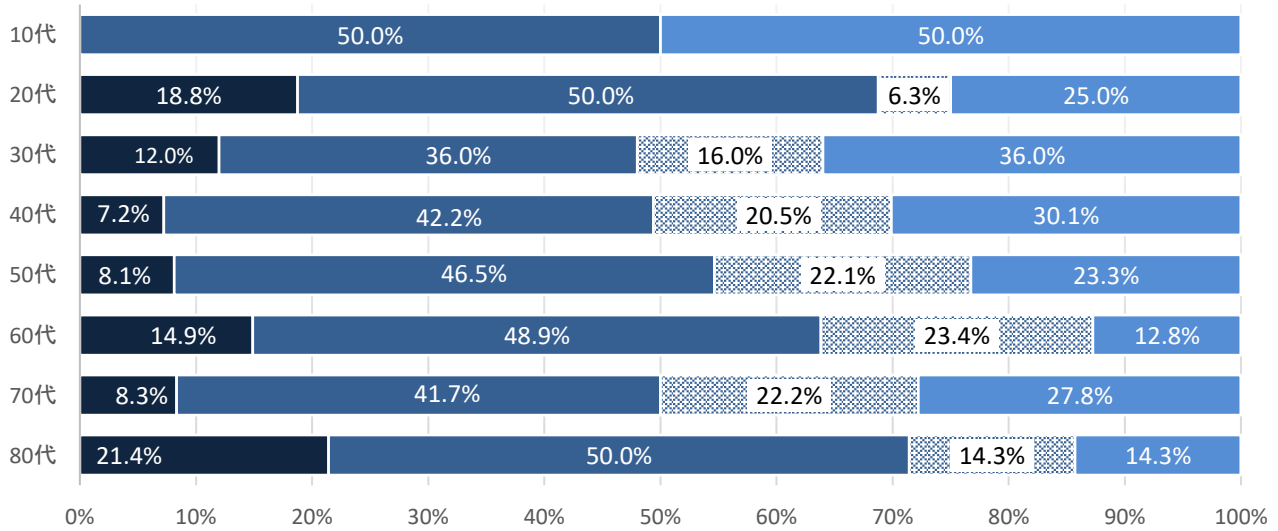
（回答者：334人）



調査結果の推移

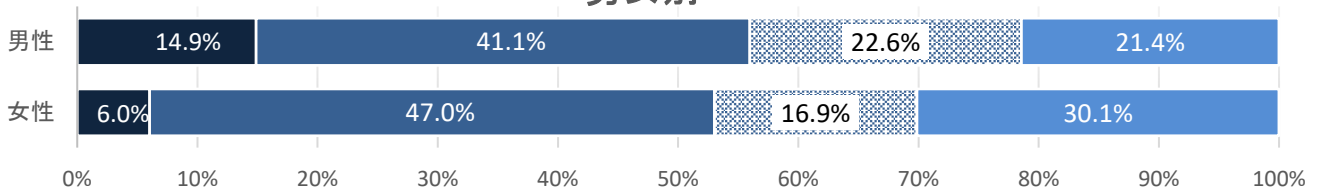


年代別



■ 十分にに取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分にに取り組んでいるとは思わない ■ 分からない

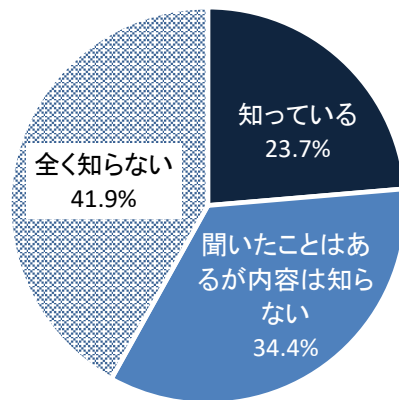
男女別



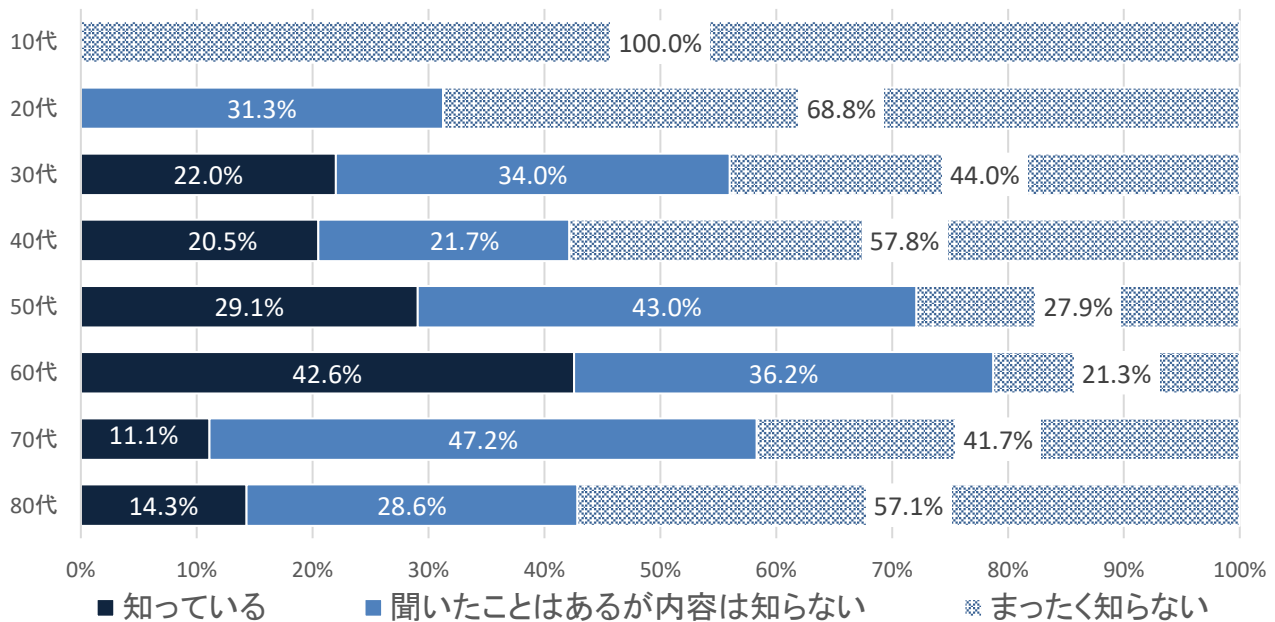
■ 十分にに取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分にに取り組んでいるとは思わない ■ 分からない

全体では「やや取り組んでいる」が最も高い割合を占めている。前回調査と比べると、「十分にに取り組んでいる」は3.2ポイント、「やや取り組んでいる」は9.1ポイント高くなっている。  
年代別でみると、若い年代で「分からない」の割合が高い傾向にある。  
男女別でみると、「十分にに取り組んでいる」の割合は男性が8.9ポイント高くなっている。

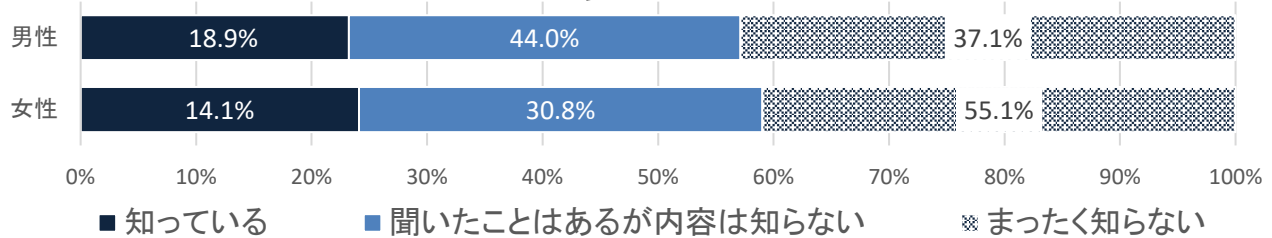
問9 こおりやま広域圏内において、「SDGs体感未来都市」の実現に向け、特に優れた取り組みを進めている市民、団体等を表彰する「こおりやまSDGsアワード」をご存知ですか？（1つ選択）  
（回答者：334人）



### 年代別



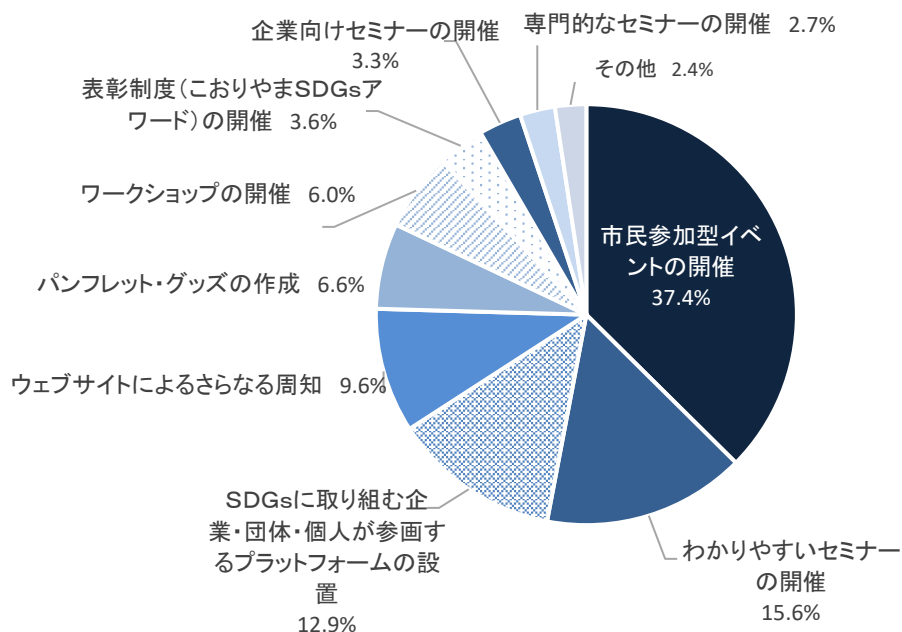
### 男女別



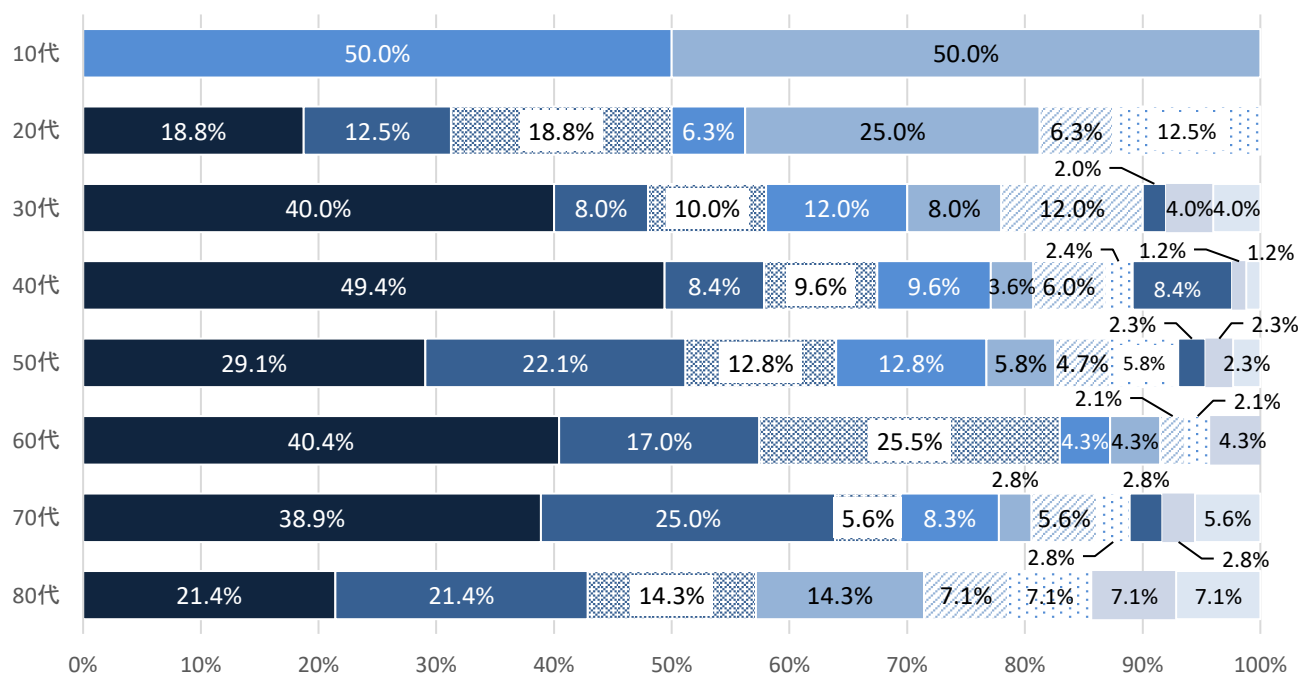
全体では、「知っている」割合は23.7%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が34.4%、「全く知らない」が41.9%となっている。  
年代別では、50代、60代の認知度が高く、10代、20代の認知度が低い。

問 10 SDGsの達成に向けて、郡山市に特に取り組んで欲しいことは何ですか？  
(1つ選択)

(回答者：334人)

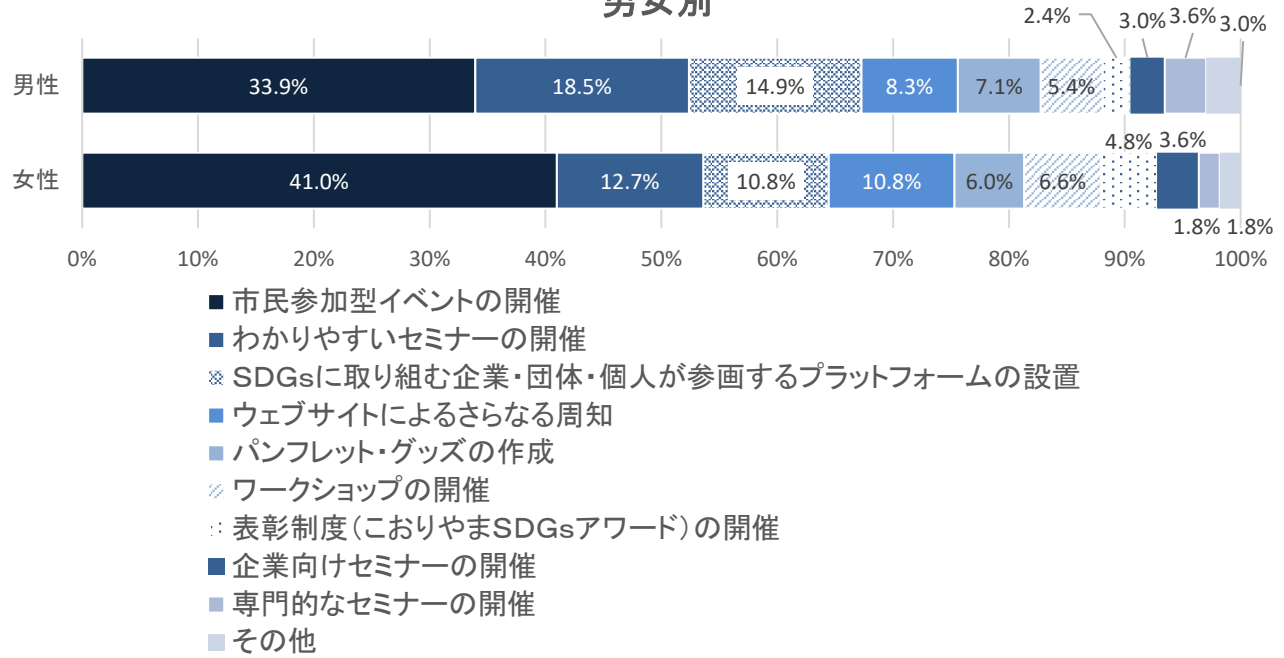


年代別



- 市民参加型イベントの開催
- わかりやすいセミナーの開催
- ※ SDGsに取り組む企業・団体・個人が参画するプラットフォームの設置
- ウェブサイトによるさらなる周知
- パンフレット・グッズの作成
- ワorkshopの開催
- 表彰制度(こおりやまSDGsアワード)の開催
- 企業向けセミナーの開催
- 専門的なセミナーの開催
- その他

## 男女別



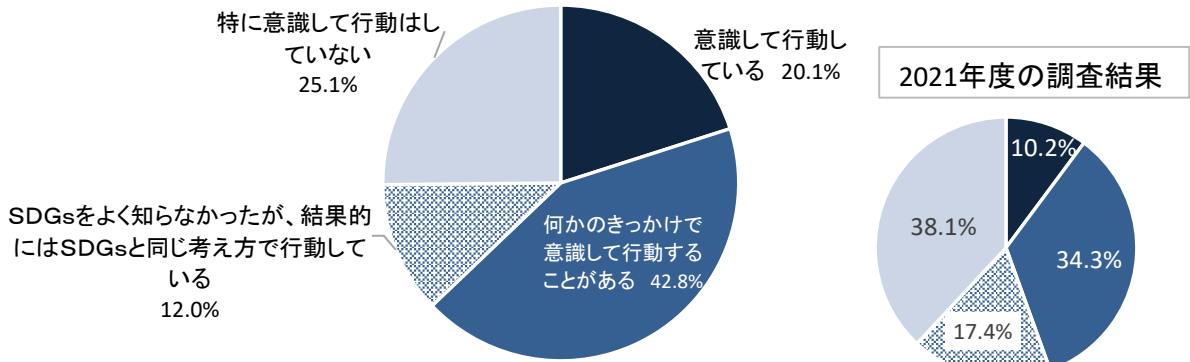
### ※「その他」を選択した方の主な意見

- ・「幼稚園、学校等で、取り組みを実施し、家庭や地域に広める」
- ・「スローガンに終わらず具体性のある日常的な市政の動き」

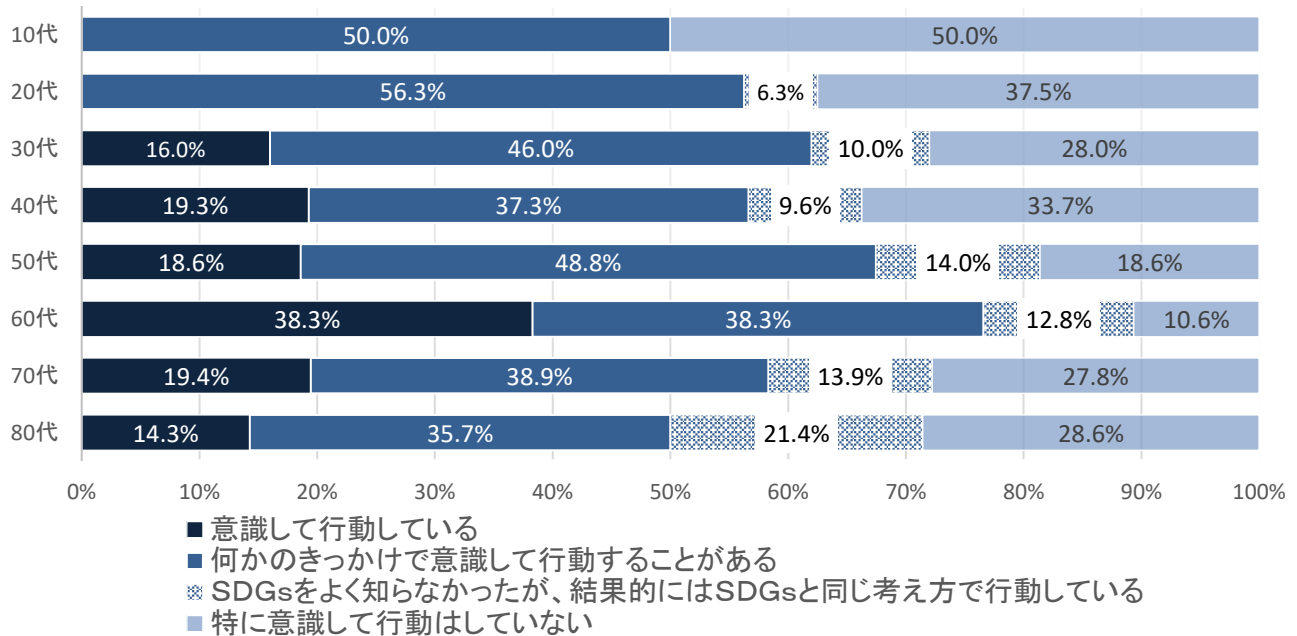
全体では「市民参加型イベントの開催」が37.4%と最多であり、次いで「分かりやすいセミナーの開催」が15.6%となっている。  
 年代別でみると、10代、20代は「パンフレット・グッズの作成」の割合が他の年代に比べて高く、50代～80代は「わかりやすいセミナーの開催」の割合が他の年代より高い。

### 第3章 みんなの取り組みについて

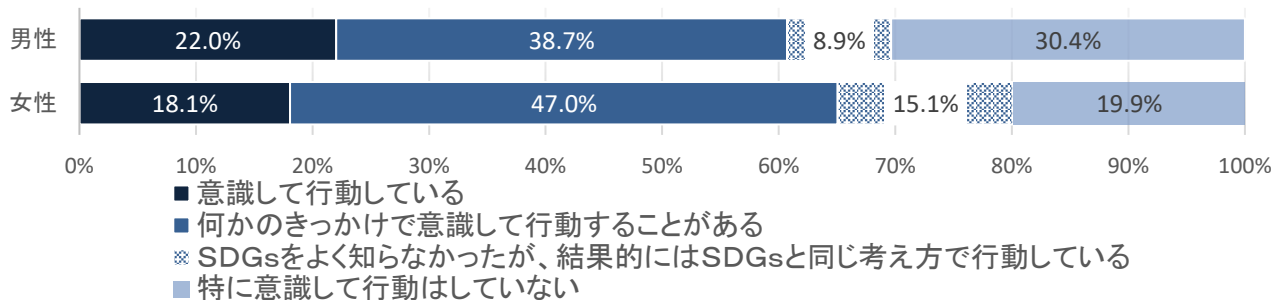
問11 日常生活においてSDGsを意識して行動していますか？（1つ選択）（回答者：334人）



#### 年代別



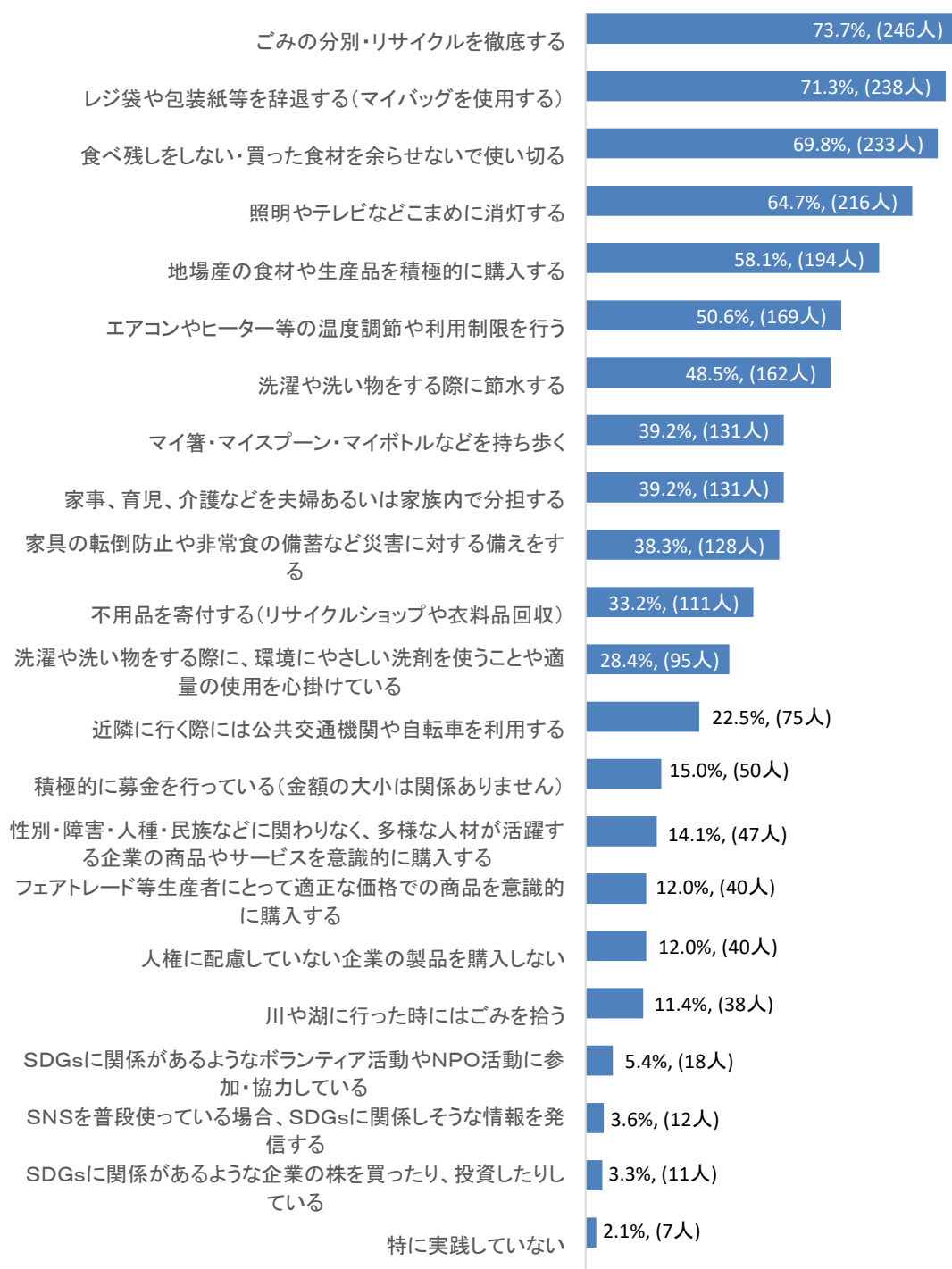
#### 男女別



「何かのきっかけで意識して行動することがある」が42.8%で最多となっている。2021年度の結果と比べると、「意識して行動している」の割合が9.9ポイント上昇している一方で「特に意識して行動はしていない」の割合が13ポイント減少している。  
 年代別では、「意識して行動している」割合が60代で高い。  
 男女別では、女性に比べ男性は「特に意識して行動はしていない」割合が高い。

問12 あなたが日常生活で行っている行動で次にあてはまるものはありますか？  
(当てはまるもの全て選択)

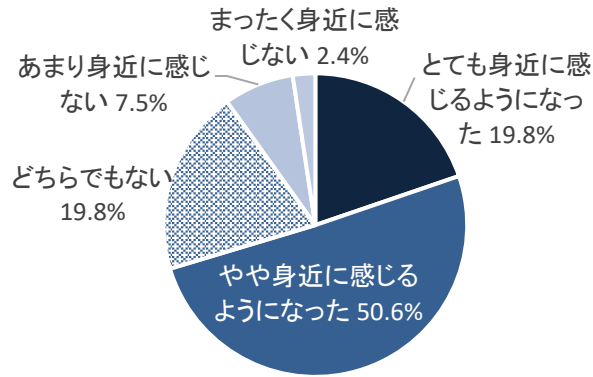
(回答者：334人)



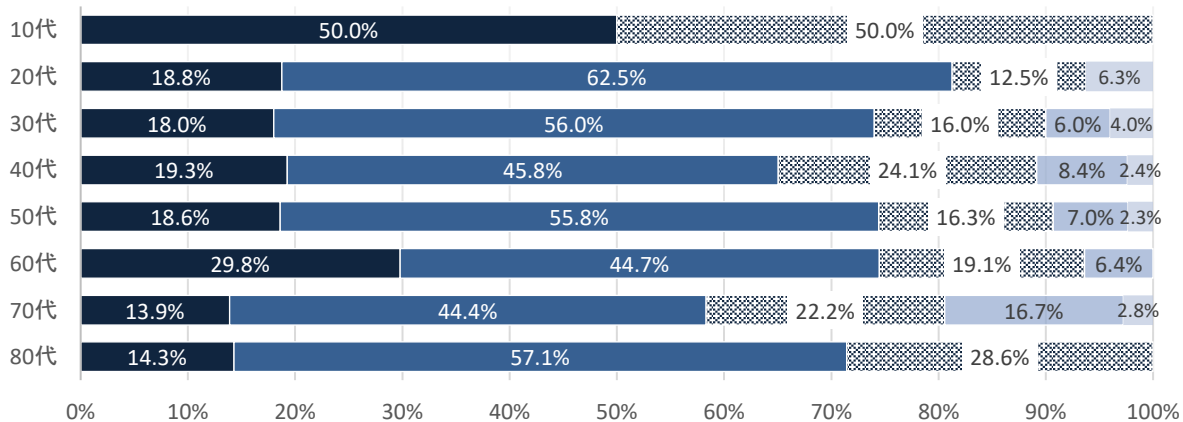
これらの選択肢はSDGs達成に貢献するものであるが、「特に実践していない」割合が2.1%と少なく、日常生活で行っている何らかの行動が実はSDGsにつながっていることが分かる。

問 13 問12で尋ねた選択肢は、どれもSDGsの達成に貢献するものですが、SDGsを身近に感じるようになりましたか？（1つ選択）

（回答者：334人）

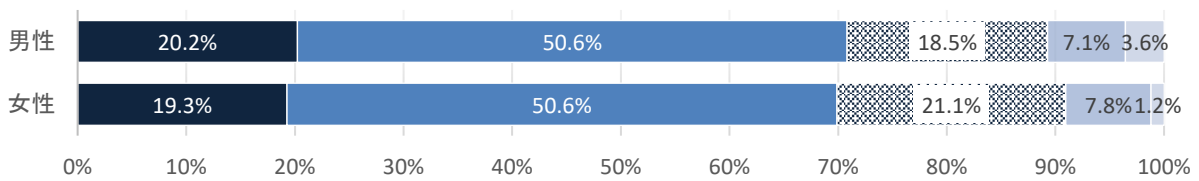


年代別



■ とても身近に感じるようになった ■ やや身近に感じるようになった ※ どちらでもない  
 ■ あまり身近に感じない ■ まったく身近に感じない

男女別



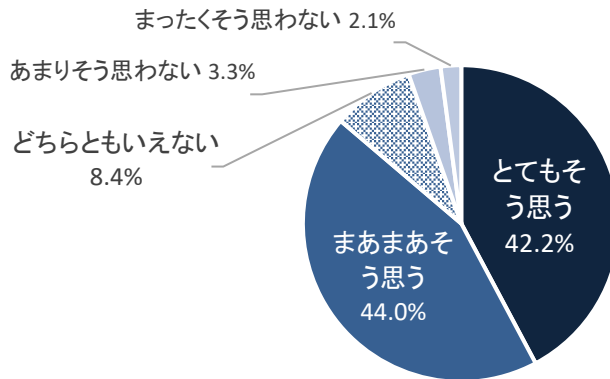
■ とても身近に感じるようになった ■ やや身近に感じるようになった ※ どちらでもない  
 ■ あまり身近に感じない ■ まったく身近に感じない

全体では、「とても身近に感じるようになった」と「やや身近に感じるようになった」の合計の割合が70.4%となっており、日常生活とSDGsが密接に関係していることを知ることで身近に感じられるようになるという結果となった。  
 年代別でみると、70代では「あまり身近に感じない」割合が他の年代に比べて高い。

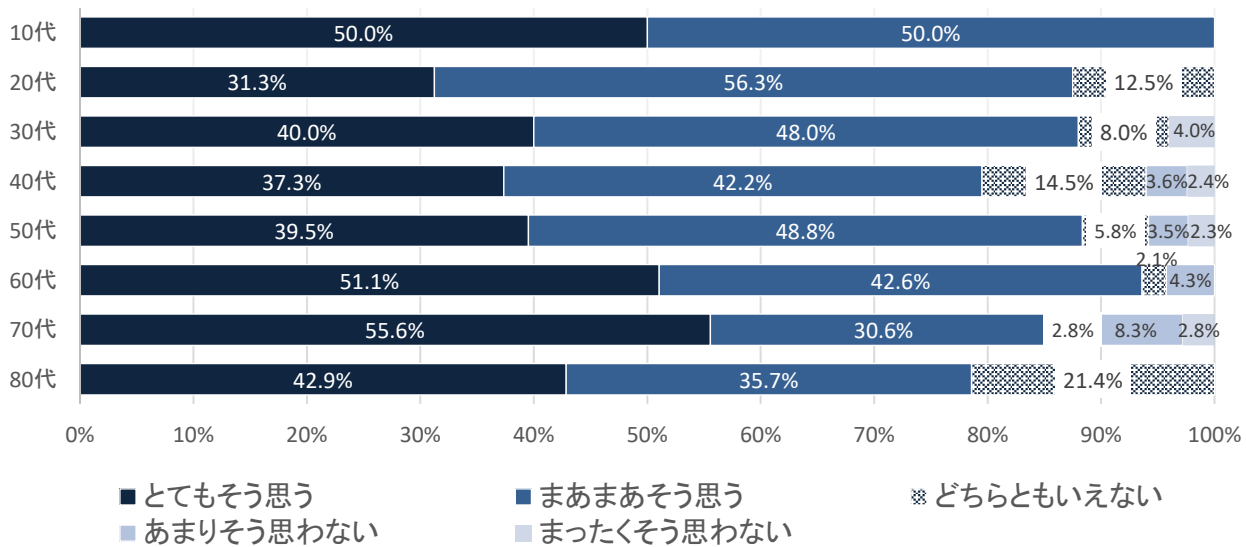
## 第4章 企業の取り組みについて

問14 SDGsの取り組みをしている企業に対して好ましく思いますか？（1つ選択）

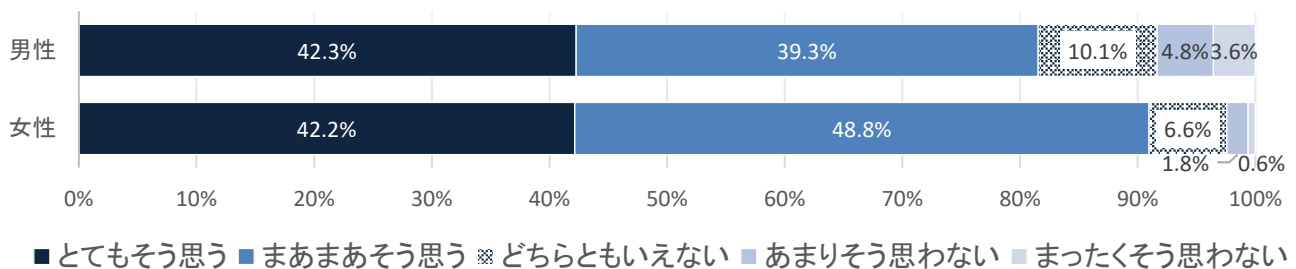
（回答者：334人）



### 年代別



### 男女別



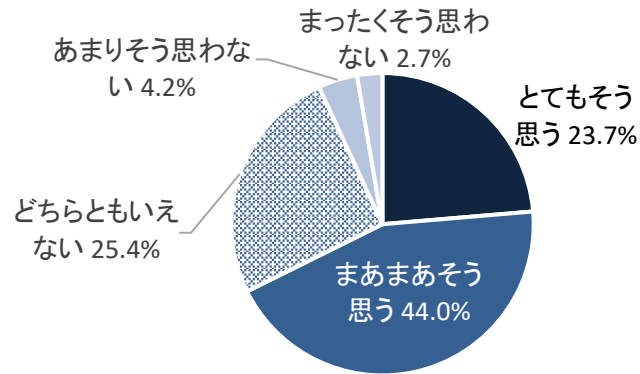
「とてもそう思う」「まあまあそう思う」の合計が86.2%を占めており、8割以上の方がSDGsに取り組む企業に対して好感を持っている。「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の合計は5.4%となっている。

年代別でみると、60代、70代の「とてもそう思う」割合は他の年代に比べて高い。

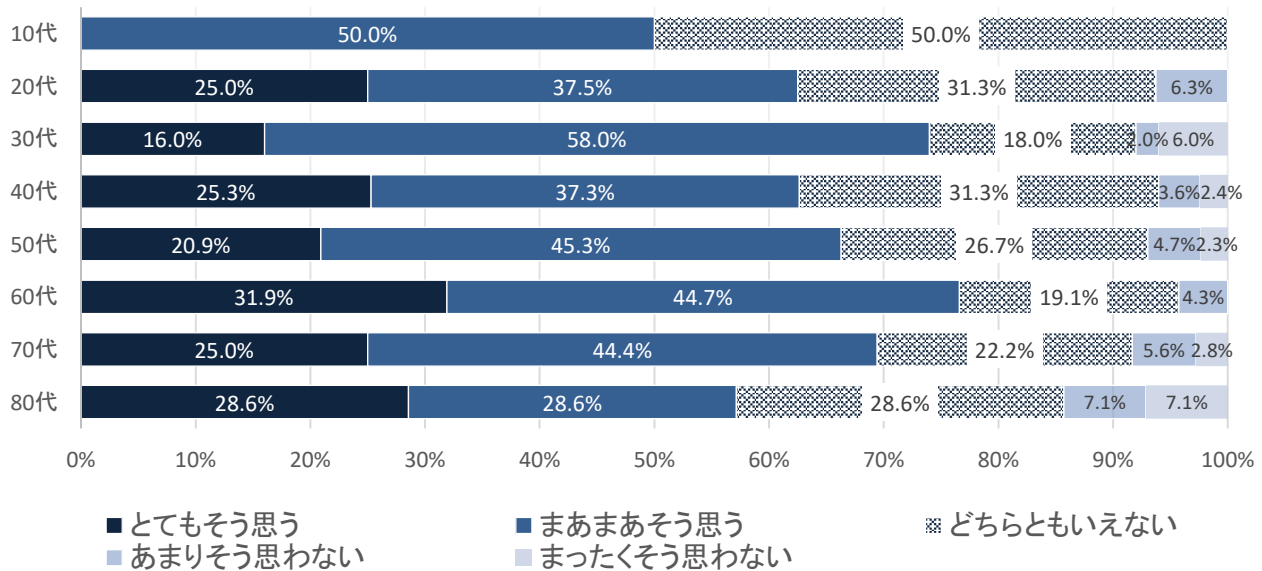
男女別では、男性の「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」割合が女性に比べて6ポイント高い。



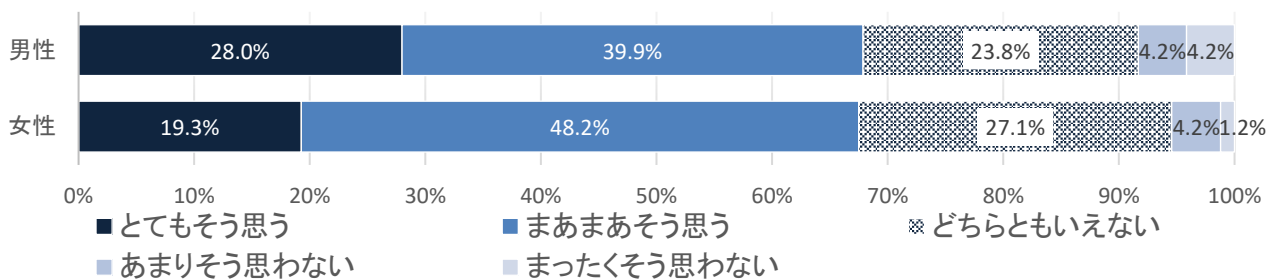
問 15 SDGsの取り組みをしている企業に就職したいと思いますか？あるいは周囲に就職を薦めたいと思いますか？(1つ選択) (回答者：334人)



年代別



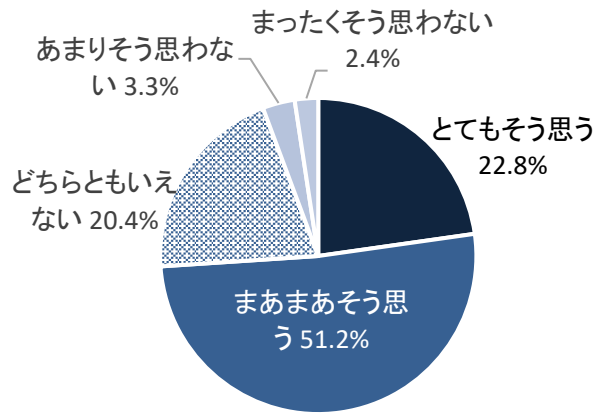
男女別



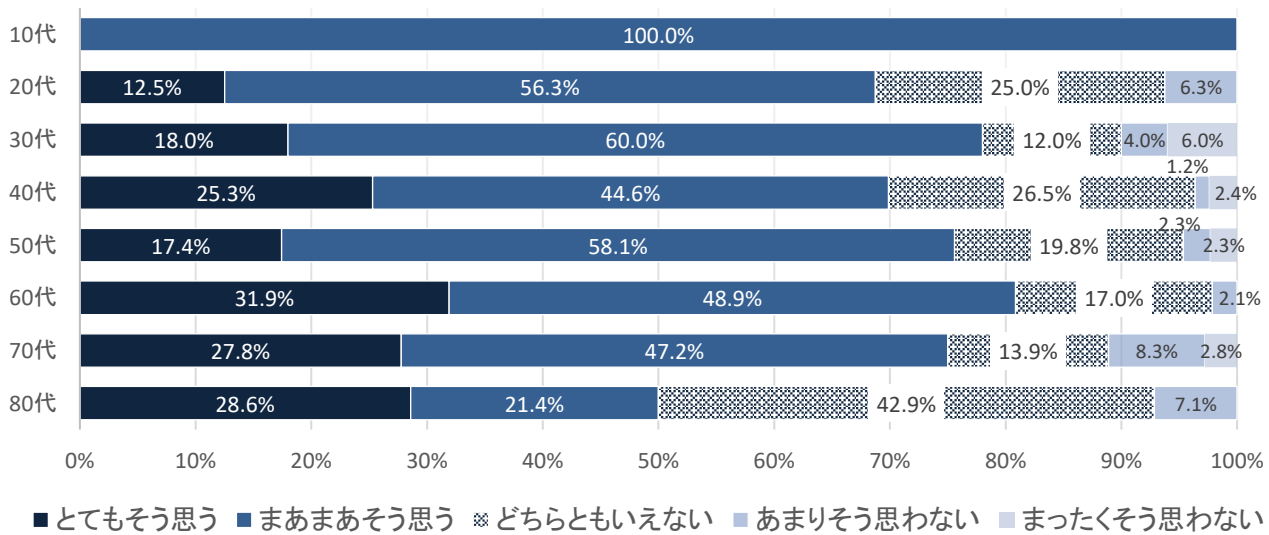
全体では、「まあまあそう思う」が44.0%で最多、次いで「どちらともいえない」25.4%、「とてもそう思う」23.7%となっている。  
年代別では、60代の「とてもそう思う」割合が比較的高く、80代の「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の割合が他の年代よりも高い。

問16 SDGsの取り組みをしている企業の商品やサービスを購入しようと思いますか？  
(1つ選択)

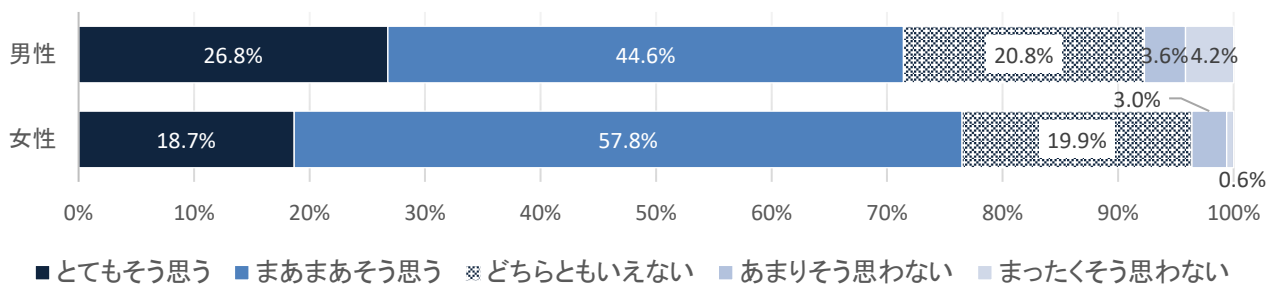
(回答者：334人)



年代別



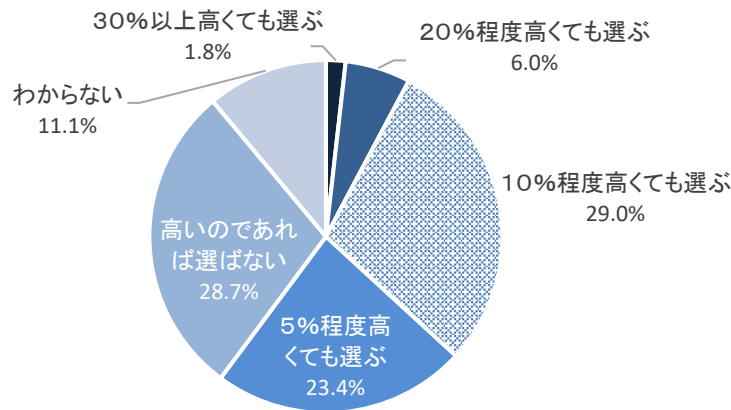
男女別



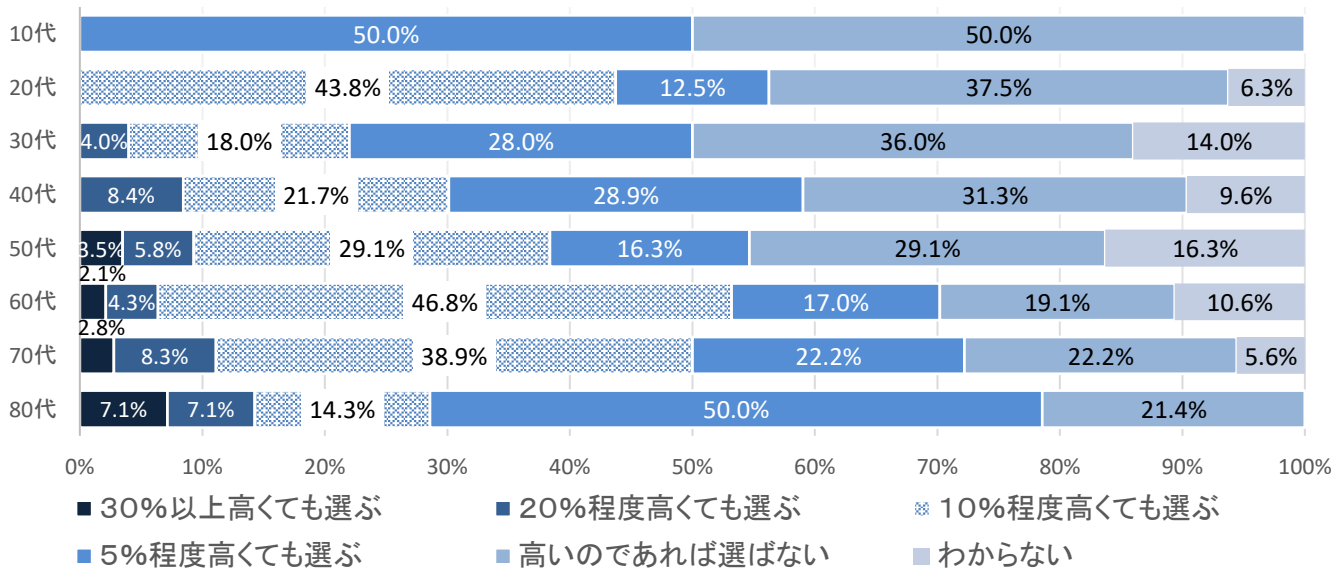
「まあまあそう思う」割合が51.2%で最も高く、次いで「とてもそう思う」22.8%、「どちらともいえない」20.4%となっている。SDGsに取り組む企業の商品やサービスは消費者に好印象を与える効果があることがわかる。  
年代別では、80代で「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

問17 SDGsの取り組みを重視した商品について、価格が高くても購入しますか？  
(1つ選択)

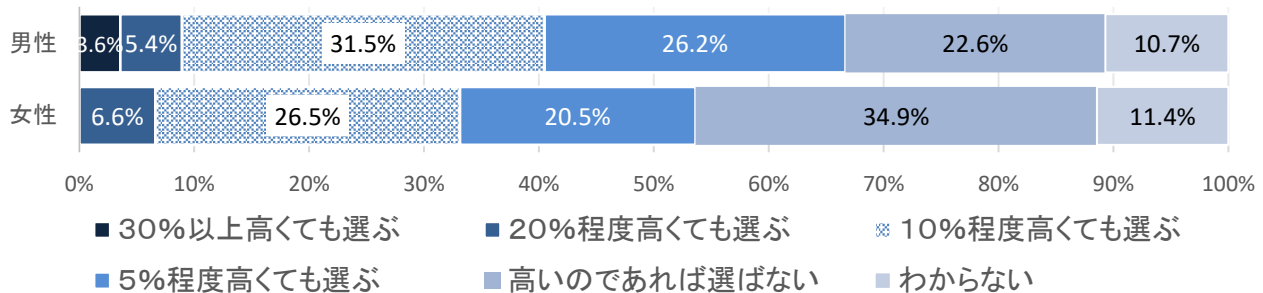
(回答者：334人)



年代別



男女別



「10%程度高くても選ぶ」割合が29.0%で最も高く、次いで、「高いのであれば選ばない」割合が28.7%となっている。  
年代別で見ると、高齢層では、値段が高くても購入する割合が高い傾向にあり、若年層では、値段が高いのであれば選ばない割合が高い傾向にある。

その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

（回答者：59人）

### SDGsの認識について

- ・前よりSDGsという言葉を目にするようになりました。様々な場所や機関で取り組んでいるからだと思います。（40代・女性）
- ・SDGsの取り組みはかけ声だけのように感じています。もっと本質的な取り組みが必要なのだと思います。（40代・男性）

### SDGsのためにやれること、必要なこと

- ・大事なことは一人一人が当事者であることに気づくことだと思っています。（50代・女性）
- ・身の回りの生活から個人の努力は必須だと思うので、やはり啓蒙が大事だと思います。（60代・女性）
- ・不景気なので、できるだけ安く済ませようとしてしまいますが、製品を理解して購入することを心がけます。（50代・女性）
- ・こういった取り組みより、日々の生活や収入の向上に繋がる施策がほしい。生活が豊かでないと難しい取り組み。（40代・男性）

### SDGsの周知について

- ・出来る範囲での媒体を通して積極的なPRをして頂ければより浸透する。（70代・男性）
- ・形だけでやってるのではない、思いからやっているんだとわかる情報を目にできるといいです。（20代・女性）
- ・エスディージーズという言葉が分かりにくいので具体的にどんな事を示すのか啓蒙が必要だと思います。（40代・男性）

### その他

- ・常日頃心掛けていた精神にSDGsという呼称があとから付いたので、身近に感じる以前に自然な行いです。（40代・女性）
- ・小学校の運動会でSDGsをテーマにした競技があり、親子でSDGsを考えるいいキッカケになりました。（40代・女性）
- ・今まで、少し気にしていましたが、これからも更に意識して生活していこうと思います。（30代・女性）